



昭和医科大学歯学部だより

2026年 6-8月号

通算第241号

学祖祭が挙行されました

＜歯学部長 馬場 一美＞

令和8年5月31日(日), 第16回 学校法人昭和医科大学 学祖祭が開催されました。学祖祭は, 本学の学祖である上條秀介博士, 上條一也博士のご遺徳を偲び, その志を後世へ継承するとともに, 本学関係者が一堂に会し, 親睦と絆を深めることを目的として毎年開催されています。午前中には, 都立多磨霊園の上條家墓前において, 小口理事長による墓前報告が行われ, ご親族ならびに役員の皆様とともに献花を捧げまし



した。午後には, 上條記念館 上條ホールにおいて, 上條奨学賞をはじめとする各種表彰が行われ, 優秀な成績や顕著な功績を収めた学生・教職員が顕彰されました。また, 小口理事長より, 本学の未来に向けた力強い講演が行われました。その後, 同館内の富士桜にて懇親会が開催され, 参加者同士の交流を深める和やかなひとときとなりました。本年は過去最多となる642名の皆様にご参加いただき, 昭和医科大学の輝かしい歴史と伝統, そして未来への展望を共有する意義深い一日となりました。ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。来年も, より多くの皆様のご参加をお待ちしております。

奨学・研究奨励基金研究者表彰

学術研究諸活動: 口腔腫瘍外科学分野

安部 勇蔵

海外留学諸活動: 歯科矯正学分野

藤田 昭彦

学業成績優秀賞

2年 森嶋 啓花

5年 末木 佐和子

3年 山谷 優奈

6年 仲谷 美咲

4年 佐々木 柚葉

- P.1 【学祖祭が挙行されました】歯学部長 馬場 一美教授
【奨学・研究奨励基金研究者表彰】【学業成績優秀賞】
- P.2 【上條奨学賞(研究業績部門)を受賞しました】歯科薬理学講座 畔津 佑季講師
【上條奨学賞(教育功績部門)を受賞しました】歯科補綴学講座 歯科補綴学部門 馬場 一美教授
- P.3 【上條最優秀論文賞を受賞しました】富士吉田教育部 宮本 洋一教授
【第29回 夏季スポーツ大会壮行会が行われました】歯学部学生部長 野中 直子教授
- P.4 【日本歯科医療管理学会で発表しました】歯学部2年 小出 さくら
【行事予定】【編集後記】

上條奨学賞(研究業績部門)を受賞しました

＜歯科薬理学講座 畔津 佑季＞

この度は、研究者として名誉ある上條奨学賞(研究業績部門)を賜り、誠にありがとうございます。私は大学院生の頃から10年間、骨や歯に関する研究に取り組んでまいりました。そしてこの度、カルシニューリンという遺伝子が骨折治癒や骨再生に関与することを明らかにし、論文を上梓することができました。ご協力いただいた歯科薬理学講座の高見教授をはじめ、スタッフの先生方、大学院生、学部生など多くの皆様に感謝申し上げます。

現在は、この知見を基盤として骨再生医療の実現を目指し、臨床の先生方のご協力をいただきながら研究を進めております。今後も一層研鑽を積み、昭和医科大学ならびに医療の発展のために尽力してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



上條奨学賞(教育功績部門)を受賞しました

＜歯科補綴学講座 歯科補綴学部門 馬場 一美＞

このたび、名誉ある上條奨学賞(教育功績部門)を拝受いたしました。2007年の着任以来、一貫して学生教育に携わってまいりました。なかでも2010年に University of Southern California と共同開発した教育支援システム「バーチャルペーシェント」は、大変印象深い取り組みの一つです。これは、学生が仮想空間上の自律型仮想患者を対象に、医療面接から診断までを段階的に学ぶことができるシステムであり、実際の教育現場で広く活用することができました。

また、こうした新たな教育手法の導入に加え、教育委員長、教育推進室、チューター会議を中心として、留年者の減少や国家試験対策をはじめとする学生支援の充実にも注力し、着実な成果へとつなげることができました。これらはすべて、ご協力いただいた教職員、事務職員の皆様のおかげがあってこそ成し得たものです。ここに深く御礼申し上げます。

そして何より、新しい教育の試みに真摯に向き合い、期待に応えながら共に歩んでくれた学生の皆さんに、心から感謝申し上げます。



上條最優秀論文賞を受賞しました

＜富士吉田教育部 宮本 洋一＞

このたびは、私たちの論文「Supersulfides contribute to joint homeostasis and bone regeneration」(Redox Biology 81, 2025, 103545) に対し上條最優秀論文賞をいただき、心より感謝申し上げます。本論文には、筆頭著者である口腔外科学の前村美希先生(現助教)をはじめ4名の第一著者がいます。私はその4番目ですが、採択時に本学職員だったことから、代表して学祖祭にて表彰していただく大役を授かりました。本研究を責任著者として主導してくださったのは、運動器疾患の研究で多大な業績を上げられている統括研究推進センターの矢野文子准教授(採択時:口腔生化学講座兼任)と、超硫黄研究の第一人者である東北大学の赤池孝章国際卓越教授のお二人です。この異分野間の「化学反応」とも言える共同研究で、私が「反応開始剤」のような役割を果たせたことを、責任著者の先生方が評価してくださったのではないかと受け止めています。今回の受賞を励みとし、関連する研究がますます発展することを心より願っています。



受賞論文の Graphical Abstract

第29回 夏季スポーツ大会壮行会が行われました

＜歯学部学生部長 野中 直子＞

令和8年7月6日、第29回夏季スポーツ大会壮行会が昭和医科大学上條記念館・上條ホールにて開催されました。壮行会に先立ち、昭和医科大学保健管理センターの田中大介教授より「スポーツ活動における熱中症対策～予防から発症時の対応まで～」と題したご講演があり、合宿やスポーツ大会に参加する皆さんにとって大変有益な内容でした。壮行会では、上條由美学長の告示に続き、学生後援会の西村栄一副会長よりご挨拶をいただきました。選手宣誓は全クラブを代表してバレーボール部医学部4年の陳業森君が力強く務めました。その後、グリークラブの皆さんとともに出席者全員で昭和医科大校歌・応援歌を斉唱しました。応援指導部からは熱いエールが送られ、スポーツ大会に参加する学生さんの健闘を祈念して閉会となりました。



日本歯科医療管理学会で発表しました

<歯学部 2年 小出 さくら>

7月11・12日に開催されました「日本歯科医療管理学会学術大会」のシンポジウム2でシンポジストとして登壇しました。学術大会のシンポジウム2では、「女性の活躍」をテーマに、ダブルライセンスを持つ女性歯科医師の先生方が登壇しました。私自身、歯科衛生士の資格を持ちながら現在歯学部に通っているということで、以前籍を置いていた研究室の先生を通じてお声がけいただきました。内容は、「歯科衛生士から法歯学へ、そして歯科医師へ」と題して、私のこれまでの経歴や歯学部編入のきっかけ、女性のキャリア形成の重要性、ダブルライセンスの意義について発表しました。

女性のキャリア形成においては、既存の進路にとらわれず挑戦できる環境やロールモデルの存在が重要であると考えました。私自身、進路を変更することには不安もありましたが、挑戦を後押ししてくださる先生や家族の支えがあったことで、新たな一歩を踏み出すことができました。このような支援体制も、多様なキャリア形成を実現する上で重要な要素であると考えています。また、ダブルライセンスには、個人と歯科医療界の双方に意義があると考えます。個人の視点では、歯科衛生士、法歯学、歯科医師という異なる立場を経験することで、多角的な視点を獲得できることが挙げられます。また、臨床経験と研究経験を相互に活用することで専門性の向上が期待され、将来的なキャリア選択の幅も広がると考えられます。一方、歯科医療界においても、多職種への理解が深まり、臨床と研究をつなぐ人材の育成につながる可能性があります。さらに、多様な経験を有する人材が増えることで、従来の職種の枠組みにとられない新たな歯科医療人の育成にも寄与すると考えます。今後は、このような多様なキャリアモデルが広く共有されることで、資格取得後も継続して学び続けるという文化がさらに発展していくことを期待しています。



行事予定

9月25日(金) 大学院秋季修了式

10月2日(金) 大学院秋季入学式

10月3日(土) 総合型選抜入試

10月10日(土)・11日(日) 旗ヶ岡祭

10月17日(土) 学生後援会 秋季部会

10月20日(火) 解剖慰霊祭

編集後記

<口腔微生物学講座 森崎 弘史>

酷暑日という言葉が制定されてから初めての夏にふさわしく、ひときわ厳しい暑さとなりました。気象庁の予報によると、まだしばらく残暑が続くようです。体調管理にはくれぐれもお気を付け下さい。お忙しい中、ご寄稿下さいました皆様に感謝申し上げます。

昭和医科大学 歯学部だより 通算241号 2026年8月発行
発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽
6-8月号編集委員：森崎 弘史（広報委員会）
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000
ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp